

第51回水産庁入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日:令和3年1月7日)

開催日及び場所			令和2年9月30日(水)水産庁中央会議室			
委員			戸塚 輝夫(公認会計士)(委員長) 宮島 哲也(弁護士) 西村 絵美(水産大学校助教)			
審議対象期間			令和2年1月1日～令和2年3月31日			
審議対象案件			31件 うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件			
抽出案件			3件 うち、1者応札案件3件 (抽出率9. 7%) (抽出率100. 0%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		該当なし		
		指名競争	公募型指名競争		該当なし	
			工事希望型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約		該当なし		
	業務	一般競争		該当なし		
		指名競争	公募型競争		該当なし	
			簡易公募型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル		該当なし	
			簡易公募型プロポーザル		該当なし	
			標準型プロポーザル		該当なし	
			その他の随意契約		該当なし	
	物品・役務等	一般競争		3件 うち、1者応札案件3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件0件		
		指名競争		該当なし		
		随意契約(企画競争・公募)		該当なし		
		随意契約(その他)		該当なし		
	(特記事項)			特になし		

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	1. 漁業調査船「開洋丸」一般修繕(バウスラストードア格納工事) ・当該工事が緊急的な案件でなく、また、年度末の対応でなければ、他の業者も入札に参加できた可能性はあるのか。 ・一般競争入札とした理由は何か。緊急案件であり、公募による随意契約等、何らかの随意契約の形は取れなかったのか。 2. (白嶺丸・白鷗丸・いせはま)長距離音響発生装置部品換装業務 ・コーンズテクノロジー以外の業者に対して見積もりの依頼や打診を行ったのか。 ・コーンズテクノロジーは仕入業者と思われるため、他の業者への見積もりの打診を継続していただきたい。 ・過去においては、コーンズテクノロジーとプロテックスの2者で競争していたようだが、この2者が有力ということか。 ・同年度に3つの契約があるということは、修繕が3回あったということか。 ・事業者に対するアンケート結果において、入札案件を知らなかったとの回答が2件あるが、紙以外にもホームページで公表しているにもかかわらず、知らないという状況はどういうことか。業者は普段からモニターをしていないのか。 ・今後、事業者に対するアンケート結果において、入札案件を知らなかったという回答があった場合は、その理由について確認していただきたい。 3. 漁業調査船建造に係る図面考査及び技術支援業務(開洋丸代船) ・今回の予定価格が、29年度、30年度よりも半分くらいの金額になっている理由は何か。 ・アンケートの実施数が5者に満たない場合の理由については、回答できる業者が5者ほどいないことから、1者についてアンケートを取ったということか。	・今回、工事を実施するに当たり3者から4者程度照会をかけたところ、対応できるのがサノヤス造船だけでありました。他の時期であれば何者か入札に参加できた可能性はあると考えています。 ・随意契約の検討は行いましたが、スケジュール的に間に合う場合は一般競争入札としています。 ・見積もりの打診は行いましたが、製品が外国製なのでなかなか取り扱いができないという回答を受けています。 ・了解しました。 ・当時はプロテックスも取扱業者として対応されていたが、現在は、コーンズテクノロジーで対応している状況です。 ・そのとおりです。同時期に修繕依頼がある場合は、まとめて入札を行います。通常はその都度入札を行っているので、3回となっています。 ・アンケート結果には、その詳細が記載されておらず、また、当方から再質問も行っていないため、その理由については不明です。 ・了解しました。 ・29年度、30年度は、2隻分の図面考査及び技術支援業務を行っているということで、おおよそ2倍ぐらいの予定価格になっています。 ・そのとおりです。
委員会による意見の具申又は勧告の内容 〔これらに対し部局長が講じた措置〕	特になし	
事務局：水産庁漁政部漁政課 政策評価班		